

植生保護柵一覧表

設置年度	No.	名称	植生区分	立地	面積(m ²)		光環境		大径木(設置時) 直径80 cm以上	出現種数 (R5植生調査)	備考
					柵内	柵外調査範囲	設置時	現在			
H25	1	春日山4-1	コジイ①	斜面下部	835	1,569	○	×		10科11種	・イヌガシ等の低木種が優占。常緑広葉樹やナギにより林冠の閉鎖が進行。
	2	春日山5-1	カシ①	尾根部	817	1,548	○	○		27科40種	・コジイとツクバネガシが優占。ギャップ下ではモミやウリハダカエデなどの実生・稚樹が生育。
	3	春日山16-1	スギ②	斜面下部	721	1,503	○	△		37科74種	・アラカシが優占。林床ではカギカズラやオオバノイノモトソウが多く生育。 ・メッシュパネル(金網)型植生保護柵であるが、破損履歴あり(年度不明)
	4	花山1-と-1	コジイ③	斜面中部	468	1,330		○	コジイ	42科73種	・モミとコジイが優占。柵内大径木の枝枯れの進行(ナラ枯れ・穿入生存木)で明るい環境。草本・落葉樹が増加・生長。
	5	花山2-い-1	コジイ③	斜面中部	464	1,311	○	○		35科53種	・コジイとサカキが優占。枝折れ等で生じたギャップ下で落葉樹・草本が生育。コジイとモミの実生が定着。 ・修復植栽実証実験(R1:21本植栽→R4:20本生残)
H26	6	春日山8-1	コジイ③	斜面下部	1,637	2,032	○	○		34科54種	・コジイとモミが優占。ギャップ下ではシダ(コバノイシカグマ等)が繁茂。アラカシなどの実生が生育。 ・ナンキンハゼ伐採(R2:10本)
	7	春日山9-1	カシ①	斜面上部	1,087	1,679		△	アカガシ	35科50種	・アカガシが優占。柵内の林冠はやや閉鎖。柵外の攪乱(台風による樹木の幹折れ、H30)でネット際は明るい環境。先駆性樹種(カラスザンショウ)等が出現。
	8	春日山9-2	カシ⑤	斜面上部	885	1,581	○		ツクバネガシ	49科102種	・ツクバネガシとイチイガシが優占。柵内大径木の枝枯れの進行(ナラ枯れ・穿入生存木)で明るい環境。落葉樹が出現。 ・設置前にナギ数量調整(H26試行実験、柵設置範囲に生育していた39本中20本を伐採)
	9	春日山9-3	カシ②	谷部	2,116	2,186		△	イチイガシ	65科140種	・イチイガシが優占する湿地帯。レッドデータブック選定種を含む多様な植生が生育。 ・設置前に周辺部でナギ数量調整(H26試行実験、柵設置範囲に生育していた11本中6本を伐採) ・ナンキンハゼ伐採(R3:1本)
	10	春日山11-1	カシ③	斜面上部	865	1,506		○	ウラジロガシ、アカガシ、 ツクバネガシ	35科60種	・ウラジロガシとアカガシが優占。大径木の倒木によりギャップ形成。落葉樹が増加。
	11	春日山13-1	カシ④	尾根部	687	1,546	○	○	ウラジロガシ	40科64種	・コジイとウラジロガシが優占。柵内大径木の主幹折れによりギャップが形成。つる性木本を含む落葉樹が増加。
	12	更新区2-は-1	スギ①	斜面下部	737	1,446		×	ツクバネガシ	11科13種	・ツクバネガシが優占。閉鎖林冠で林床が暗い環境。
	13	春日山4-2	コジイ①	斜面中部	989	1,650		○	コジイ	30科57種	・スギが優占。コジイとウラジロガシの実生が生育。 ・支柱破損(R5)
	14	春日山5-2	スギ②	尾根部	1,090	1,637	○	○		44科80種	・スギとコジイ、ウラジロガシが優占。先駆性樹種(ウリハダカエデほか)を含む落葉樹が増加し繁茂。 ・修復植栽実証実験(R3:15本植栽→R5:13本生残)
	15	春日山8-2	コジイ③	尾根部	983	1,624		×	ツクバネガシ	23科36種	・モミとコジイが優占。シダ類と落葉樹が増加。
16	春日山9-4	コジイ②	谷部	385	1,153		×		23科31種	・ナギが優占する林分に設置した植生保護柵。閉鎖林冠。	
17	春日山11-3	カシ③	斜面上部	1,652	1,931	○	○		31科60種	・ツクバネガシが優占。ギャップ下で落葉樹とシダ類が増加。 ・修復植栽実証実験(R4:10本植栽→R5:9本生残)	
18	春日山12-1	カシ①	斜面中部	789	1,601		×	アカガシ	16科20種	・カシ類(アカガシ、ウラジロガシ、ツクバネガシ)が優占。やや暗い急斜面地。	
19	春日山12-3	カシ①	尾根部	498	1,339	○	○		19科26種	・アカガシが優占。急斜面地。	
20	春日山13-2	コジイ②	谷部	339	1,199		×	ツクバネガシ	22科33種	・ツクバネガシとコジイが優占。谷部に位置し暗く湿った環境。	
21	春日山13-5	コジイ②	斜面上部	656	1,485	○	○		24科37種	・ツクバネガシとコジイが優占。急斜面地。実生は岩場などの安定した箇所でも生育。ギャップ下ではコバノイシカグマなどのシダ類が出現。	
22	春日山14-1	スギ②	斜面中部	979	1,587		×	アラカシ、ウラジロガシ	35科56種	・ウラジロガシとスギが優占。林床はやや暗いがカシ類やモミの実生が生育。	
23	春日山14-2	スギ②	尾根部	477	1,239		×	アカガシ	28科36種	・アカガシとコジイ、スギが優占。林床はやや暗いが落葉樹が増加。アカガシ実生の生長・定着。	
24	春日山15-1	ムクロジ林	斜面上部	1,223	1,794		×	ウラジロガシ	40科71種	・ウラジロガシが優占。林冠木(ウラジロガシ、スギ等)の影響でやや暗い環境。ムクロジなどの落葉高木種やウラジロガシの実生が生育。	
25	春日山16-2	ムクロジ林	斜面下部	973	1,651	○	○				・土砂流入による倒壊を繰り返したため撤去(R3)。
26	春日山16-3	コジイ②	尾根部	840	1,688		×	ウラジロガシ	30科41種	・コジイとウラジロガシが優占。閉鎖林冠。	
27	春日山16-4	スギ②	谷部	1,269	2,040	○	○		40科85種	・スギが優占するがイヌシデ等の落葉高木が生育。沢に近接しやや湿った環境。スゲ類が多く出現。 ・支柱破損(R5)	
28	更新区1-に-1	スギ②	尾根部	643	1,437		×	アカガシ	26科41種	・スギとアカガシが優占。閉鎖林冠。	
29	花山1-と-2	コジイ③	斜面中部	970	1,602	○	○		45科105種	・コジイが優占。ギャップ下で草本と落葉樹が生育。 ・修復植栽実証実験(R2:9本植栽→R4:6本生残) ・支柱破損(R5)	
30	花山2-と-1	カシ⑤	尾根部	452	1,186		○	ウラジロガシ	40科66種	・ウラジロガシとコジイが優占。柵内や周囲で発生したナラ枯れにより明るい環境。落葉樹や草本が増加。 ・支柱破損(R5)	
31	花山2-と-2	スギ①	谷部	725	1,425		×	コジイ	33科55種	・コジイとスギが優占。遊歩道に近接する谷部で閉鎖林冠。	
32	花山2-と-3	カシ⑤	斜面下部	1,050	1,568	○	○		40科70種	・ウラジロガシが優占。全体的に明るくウリハダカエデ等の先駆性樹種の実生・稚樹、落葉低木種が繁茂。	
H28	33	春日山3-2	コジイ②	斜面下部	610	1,455		×	ツクバネガシ	38科64種	・イヌガシとモミが優占。台風による攪乱(H30)、柵付近の大径木の伐倒(R1、ナラ枯れ穿入被害木)により明るい環境。落葉樹が増加。 ・支柱破損(R5)
	34	春日山4-3	コジイ①	斜面下部	555	1,290	○	○	コジイ	17科20種	・イヌガシが優占するがコジイ等の高木も生育。タマミズキなど落葉樹の発生。
	35	春日山8-3	コジイ②	尾根部	773	1,423	○	△		32科57種	・イヌガシが優占。つる性木本(ヤマイバラほか)の繁茂でやや暗い環境。柵内外でナギが生育。
	36	春日山9-5	カシ②	斜面下部	640	1,372	○	○	ウラジロガシ	46科83種	・スギとイヌガシが優占。大径木の枯死(ナラ枯れ)で明るい環境。ナチシダ等のシダ類が増加。
R3	37	花山1-と-3	コジイ③	斜面中部～下部	3,959	2,856	○	○	コジイ	58科137種	・コジイとサカキが優占。沢部を含み斜面下部は湿った環境。 ・保護柵の仕様変更(支柱強度の向上、支柱設置間隔の短縮、支え支柱の追加、スカート幅の拡充)
R4	38	更新区1-は-1	スギ②	斜面中部～下部	3,685	2,929	△	△	ツクバネガシ	12科17種	・スギとウラジロガシ、ツクバネガシ、サカキが優占。更新区(人工林)に隣接。 ・明治期の保全木台帳に記録される「春日杉」を含む。 ・保護柵の仕様は「花山1-と-3」と同様。
					38,522 (約3.9 ha)	61,399 (約6.1 ha)			23箇所が大径木を含む保護柵	89科314種	